様式　３０

１．火薬庫の位置及び付近の状況は、別図による。

２．保安物件との距離

(1) 最大貯蔵量（規則第２０条第３項の規定を計算式で明示すること。）

（ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 爆薬区分 | ２５ | ＋ | ５０ | ＋ |  | ＋ 　　 ≒（ ）≦１ |

（ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 火工品区分 | 10,000 | ＋ |  | ＋ |  | ＋ 　　 ≒（ ）≦１ |

(2) 火薬庫から保安物件までの保安距離は、下記の事項及び付近の状況図による。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 保安物件の種類  （法定距離） | 爆薬庫 | | 火工品庫 | |
| 保安物件 | 方角及び距離 | 保安物件 | 方角及び距離 |
| 第　 １ 　種  （ 　ｍ） |  |  |  |  |
| 第　 ２ 　種  （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |
| 第　 ３ 　種  （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |
| 第　 ４ 　種  （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |

３．火薬庫の構造及び設備

　(1) 火薬庫、土堤、防火設備及び警戒設備の全体設置計画は、火薬庫施設設置図による。

(2) 火薬庫の構造等は、下記の事項並びに立体図、平面図、側面図、断面図、配筋図、基礎図（床下のコンク　　リート打ち及び隔壁と一体をなすもの）及び小屋組図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　 　目 | | 火　　　薬　　　庫 |
| 壁 | 全　　面  隔　　壁  その他 | 無筋コンクリート造り、厚さ(　　　　　)cm  ( )造り、厚さ(　　　　　)cm  ( )造り、厚さ(　　　　　)cm |
| 盗難防止措置 | 設置場所 |  |
| 種 類 |  |
| 鉄線の直径 | （ ）mm 、（ ）番線 |
| 網目の直径 | （ ）cm |
| 小屋組及び屋根 | | 木　　造 ・（ ）葺 |

(3) 入口の２重扉、床、通気孔の構造等は下記の事項並びに建具図及び設置図による。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　　　 　目 | | | | | 爆　　　薬　　　庫 |
| 内扉 | | 構　　造 | | | 木製、引戸、片開・両開 |
| 錠の種類 | | |  |
| 外扉（耐火扉） | 本　体 | | 構 造 | | 鉄板製、引戸・開戸、片開・両開 |
| 寸法(mm) | | 幅( 　　 ) 高( 　　 ) 厚( 　　 ) 見込(　　 ) |
| 補強用ｱﾝｸﾞﾙ(mm) | | 縦( 　　 ) 横(　　 ) 厚(　　 ) |
| 合わせ目 | | 隙間( )mm 目隠し( )mm |
| 蝶　番 | | 種　　類 | | 角　　　　蝶　　　　番 |
| 長さ及び数 | | ( )mm ( )カ所 |
| 心棒が抜けない加工措置 | |  |
| 取付方法 | |  |
| ロット棒 | | 取付箇所 | | 蝶番側の扉側面 |
| 取付数 | | 上部( 　 )本、下部( 　 )本 |
| 直径及び材質 | | ( )mm 炭素綱 |
| 長さ及び取付寸法 | | ( )mm 電気溶接 |
| 扉枠の固定方法 | | | |  |
| 錠 | | 種　　類 | | 面付ﾚｼｰﾊﾞｰﾀﾝﾌﾞﾗｰ本締錠･ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(面付･堀込) |
| ﾃﾞｯﾄ  ﾎﾞﾙﾄ | 材質 | ステンレス綱・焼入炭素綱 |
| 長さ | ( )cm |
| かんぬきの鉄棒 | | 直径( 　 )mm 長さ(　 )mm |
| 内面の板張り | | | | | 床面に鉄類を表さない。 |
| コンクリート打ち | | | | | 基礎と一体となるコンクリート打ち |
| 床の高さ | | | | | 地盤面から( )cm |
| 通気孔 | 幅及び数 | | | | ( )cm ( )カ所 |
| 金網 | | 鉄線の直径 | | ( )mm ( )番線 |
| 網目の直径 | | ( )cm |
| 鉄棒(幅20cm以上の場合) | | | | 直径(　 )mm 間隔( 　 )mm |
| 換気孔の取付数 | | | | | 天井( 　　 )個、両つま(各　　　個) |

(4) 土堤又は簡易土堤の構造等は、下記の事項並びに正面図、平面図、断面図及び施設設備図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　 　目 |  |  |
| 堤脚から外壁までの距離 | ( )ｍ |  |
| 勾配及び高さ | ( )度 屋頂以上( )ｍ |  |
| 頂部の厚さ及び堤面の覆い | ( )ｍ ( 　　 ) |  |
| 堤脚の土留の高さ及び材料 | ( )ｍ 土留(　 　 ) | 側壁板( 　 )支柱( ) |

(5) 警鳴装置の構造等は、下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　 　　 　目 | | | 警鳴を発する装置 | 警鳴を発する装置 |
| メーカー及び型式 | | |  |  |
| 設置場所 | | | 火薬庫の外壁・付近（ ） | 火薬庫の外壁・付近（ ） |
| 本　　　体 | 外 函 | | 鉄板製、厚さ( )mm | 鉄板製、厚さ( )mm |
| 錠の種類 | |  |  |
| 開口  部の  防護  措置 | 雨･雪の進入 |  |  |
| 虫類の進入 |  |  |
| 回路の外部接触 |  |  |
| 警報部の外部接触 |  |  |
| 警報器 | 種類 | | ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ | ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ |
| 警報等の始動及び音量 | | 扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ | 扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ |
| 回　　路 | 庫内電流 | | 爆薬庫( )A 火工品庫( )mA |  |
| 切断対策 | | 警鳴を発する・金属管で保護 | 警鳴を発する・金属管で保護 |
| 保安装置 | | 避雷器・ヒューズ( )mA | 避雷器・ヒューズ( )mA |
| テスト装置 | | スイッチ式 | スイッチ式 |
| 電源 | 電池(電圧の消耗状況) | | メーター・表示灯 | メーター・表示灯 |
| 交流(停電時の措置) | | 予備電池に自動切り替え | 予備電池に自動切り替え |

(6) 注水設備及び夜間点燈装置は、下記の事項並びに施設設置図による。

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　　　 　目 |  |
| 注水設備 |  |
| 夜間点燈装置 | 有（施工図及び設置図による。）・無 |

４．貯蔵上の取り扱い

(1) 最高最低寒暖計を爆薬（火薬）室内に設置する。

(2) 火薬類の貯蔵は、下記の事項及び別図による。

　 火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

爆薬（火薬）室内

火工品室

(3) その他の取扱いは、火薬類取締法施行規則第２１条の規定による。

５．火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 氏名（年齢） | 免状の種類 | 保安手帳番号 |
| 取扱保安責任者 | ( ) | ( )種取扱免状 |  |
| 同代理者 | ( ) | ( )種取扱免状 |  |

選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出します。

６．火薬庫竣工予定

　　　　　年 月 旬